

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		17年度～		根拠法令・例規等	医療法
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	備前市国民健康保険病院条例
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	市立備前病院
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供	庶務係長 藤澤昌紀
事務事業名		02		備前病院運営事業	電話 0869-64-3385
				このシート作成に要した時間 7.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	出資者である市民	
目的 (何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたのか)	市民に安全で良質な医療を提供することを病院の理念としており、安定的な経営を行うことによって、地域の皆様に信頼され、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。	

事業の実績		Do	
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するための実施した事業	病院運営(各種委員会)	病院の医療安全管理、感染対策や、業務、経営改善のための協議を行う各種委員会に関する業務	○
	労務管理	病院職員の労務・健康管理や雇用、給与支払等に関する業務	○
	施設管理	病院施設の維持・管理、故障対応や修繕等に関する業務	▲
	財務管理	病院運営のための財務管理、各種統計調査等に関する業務	◎
	その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務、市役所との連携、他の細事業に属さない事務	▲
右欄の評価の説明			
<妥当性評価> 運営状況は厳しいが、入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには、必要不可欠な事業である。			
<効率性評価> 他病院の情報を広く収集し、材料費や経費の節減や、費用に見合った収益を確保できるよう、更に研究していく必要がある。人材配置についても、適正なものとなるように取り組む必要がある。 また、他の医療機関との連携を強めるとともに、地域住民のニーズに沿った病院となるよう院内で協議を重ね、患者目線に立ち、良質な医療を提供できるよう、機能性・効率性を重視して経営改善に取り組む必要がある。			
<有効性評価> 理念どおりの、安全で良質な医療の提供のために最善を尽くし、地域の人々に信頼される病院とするためには、施設や機器の維持・整備を進める必要があり、継続して利益を確保していく必要がある。			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	41,280	30,046	30,921
	必要人員費	人	11.22人	10.12人	8.78人
	事業費	千円	99,884	83,592	75,609
	国庫支出金	千円	2,276	1,708	1,853
	受益者負担	千円			
財源	千円				
繰入金	千円				
市債	千円				
その他(一般財源)	千円				
受益者負担比率	%				
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	

結果指標	会議出席者数	説明	会議出席者延数		
	結果指標量	人	1,671	2,049	2,138
	対前年比	%	-	122.6%	104.3%
	活動コスト	円	16,760,000	28,176,000	18,475,000
	単位当たりコスト	円	10,030	13,751	8,641

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目標値 (A)	100	100	100	100
	実績値 (B)	97.44	100.3	92.3	到達目標値
決算における経常収支比率	達成率 (B/A)	97.44%	100.30%	92.30%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
経常収支/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 ①経常収支比率、②職員給与費率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで③を選択)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C	

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	診療報酬定に伴い、今後さらに必要度が増していく地域包括ケアの観点からも病院事業を間直す必要がある。今後向かうべき方向を明確にするとともに、病院事業の経営に係る事項について調査及び検討を行い、職員の意識改革、行動改革、収益向上、経費節減等、経営改善の充実を図っていく。						

総合評価		C
入院患者数の減少により、収支の状況は悪化した。原因の一つには、常勤の脳神経外科医が12月未で異動してしまったことにあるが、全国的な医師不足の中では、地方の公立病院への医師配置は十分というわけには行かず、この状況下での健全な病院経営を模索しなければならない。このような現状を、管理職だけではなく職員一同が十分に理解して、経営やコスト意識について研究し、取り組んでいく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	病院の各部門で定めた目標を確実に達成し、個々の職員もその実現に向けて努力し、点検・評価していく。 職員の中から、改善の意見を拾い上げ、できることは全てやっていく姿勢を保ち続け、日々のそうした取り組みを通し、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実現するとともに、3病院の連携の充実や経費節減にも更に力を注ぎ、健全経営を目指す。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな